

第7回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和5年12月6日（水曜日）13時30分から14時10分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 14D会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鶴川 正樹 監査法人ナカチ（公認会計士）

川口 貴史 一般財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）

齋藤 政秀 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長

三浦 大助 東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長

森谷 真咲 公益財団法人日本陸上競技連盟事務局経営企画部管理課長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

ア パーソナルコンピュータの借入れ（長期継続契約）【資料2】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

・令和6年度に増員される財団職員が使用するパーソナルコンピュータ92台分を借入れる。

<質疑・意見など>

鶴川：今回の予定単価と今までの契約の単価の比較を教えてください。

担当者：単価に大きな開きはなく、下見積等を通じて価格の妥当性を確認している。

イ 東京2025世界陸上競技選手権大会における物流に係る調整支援等業務委託【資料3】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- (ア) 大会における物流に関する諸条件を整理し、物流に係る基本計画を作成するとともに、競技会場等に搬出入される貨物の整理や通関と貨物輸送に係るマニュアルの作成、関係省庁との連絡調整など、大会運営に当たり必要となる調整支援業務を行う。
- (イ) 主な業務として、物流に係る基本計画の作成に向けた調査及び調整、物流に係る基本計画の作成、マニュアル等英訳作業を行う。

<質疑・意見など>

鵜 川：本契約を経て発注する実施計画作成・貨物輸送業務委託の契約について、本契約の受託者が有利に入札できないことがないよう、公平性・競争性を維持するために、仕様書の内容等を念入りに確認していただきたい。

担当者：本業務委託の中で物流の流れや量の推計を行い、そこで得た知識を元に後続契約の仕様書は財団として整理する。公平性・競争性の担保に留意しながら整理していく。

ウ 仮設構築物等に係る発注支援業務委託【資料4】

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- (ア) 大会会場に設置する仮設構築物（プレハブ、テント等）は、工期短縮等を図るため、設計及び施工を一括で発注するデザインビルド（DB）方式により整備する予定。DB方式の発注に向けて、国際大会に求められる条件や対応等を整理するため、本委託を行う。
- (イ) 入札手続きを行った結果、不調となったが、入札辞退者へ辞退理由の確認等を行う中で、本契約受注の意向を改めて確認したところ、予定価格以下で見積を提出する事業者があったため、財団の財務規程に基づき、当事業者と契約を行う。
- (ウ) 「本会議において精査、確認を必要とする案件」として契約締結前に付議する。

<質疑・意見など>

鵜 川：入札を辞退した事業者の中で、JV 受注ができないことを理由とする事業者がいるようだが、JV 受注ができない要件を定めていたのか。

川 口：JV による入札参加を認めるには、あらかじめ仕様書にその旨を定める必要がある。通常、東京都では大規模工事等において JV を想定しており、今回のような委託契約では JV 受注を想定していなかった。今後、入札参加条件を検討する際には、JV の必要性も含めて検討していきたい。

(3) 委員長によるまとめ

- ・ 契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

(4) 閉会